

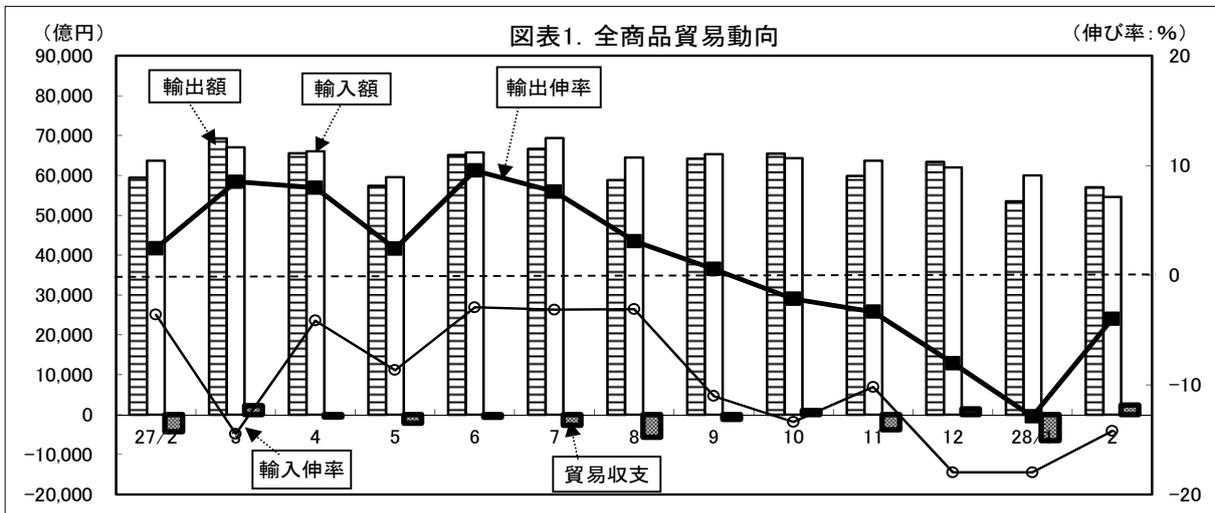
最近の機械貿易動向(2月)～機械輸出伸び率5ヶ月連続マイナス～

日本機械輸出組合 2016.4.21.

平成28年2月の機械輸出額は3兆7,325億円、対前年同月比2.5%減と、5ヶ月連続でマイナスとなった。これは、① ASEAN・南アジアとその他地域向けがマイナスとなったこと、②自動車、産業機械、電子デバイス等が大きくマイナスとなったことなどによる。為替・営業日要因が5.2%の増加寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は7.3%減と9ヶ月連続でマイナスとなった。平成28年3月の為替要因は3.3%の減少寄与要因となっているが、4月20日発表の貿易統計速報による簡易計算では3月の機械輸出は4.9%減であった。

1. 全商品貿易動向～輸出は5ヶ月連続、輸入は14ヶ月連続でマイナス～

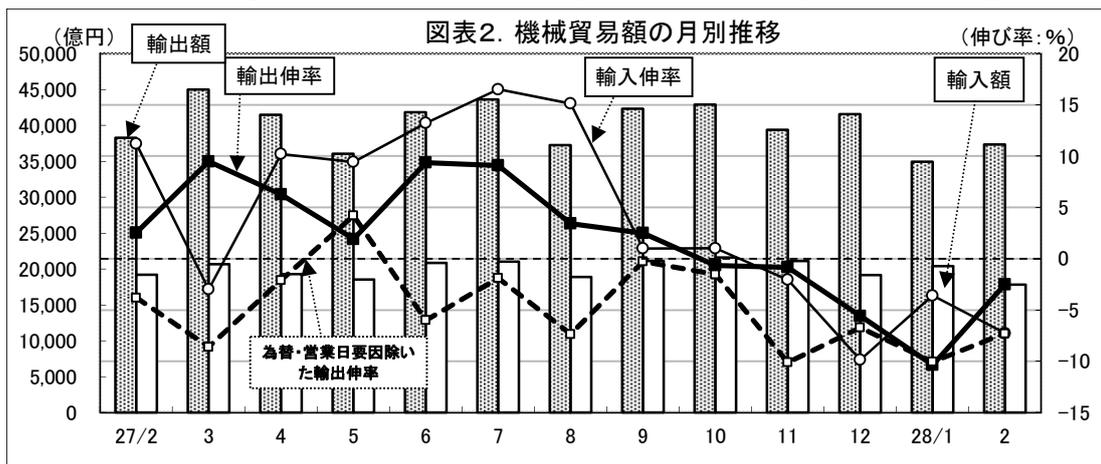
- 平成28年2月の全商品輸出額は**5兆7,037億円**、前年同月比(以下同じ)**4.0%減**と5ヶ月連続でマイナスとなった(1月12.9%減)。これは、全輸出額の約12%を占める鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(12.7%減)、20%の一般機械(2.4%減)、17%の電機機器(4.8%減)等がマイナスとなったためである。
- 輸入額は**5兆4,615億円**、**14.2%減**と14ヶ月連続でマイナスとなった(1月18.0%減)。これは、全輸入額の約19%を占める原粗油等鉱物性燃料(35.9%減)が原油価格下落等で大幅に減少したことに加え、16%を占める電気機器(12.0%減)、9%の原料別製品(13.8%減)が減少したことによる。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、2,422億円の黒字となった。(1月は6,488億円の赤字)。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は5ヶ月連続でマイナス～

- 全商品輸出額の約65%を占める2月の機械輸出額は**3兆7,325億円**、**2.5%減**と5ヶ月連続でマイナスとなり(1月10.4%減)、その水準は、リーマンショック前(2008年2月)と比べると**78.7%**となって、前月に比べて1.1ポイント悪化した(1月79.8%)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的な伸び率は7.3%減**であった。
- 一方、全商品輸入額の約33%を占める機械輸入額は、**1兆7,806億円**、**7.3%減**と4か月連続でマイナスとなった(1月3.6%減)。リーマンショック前(2008年2月)の水準と比較しても20.2%増となっている。

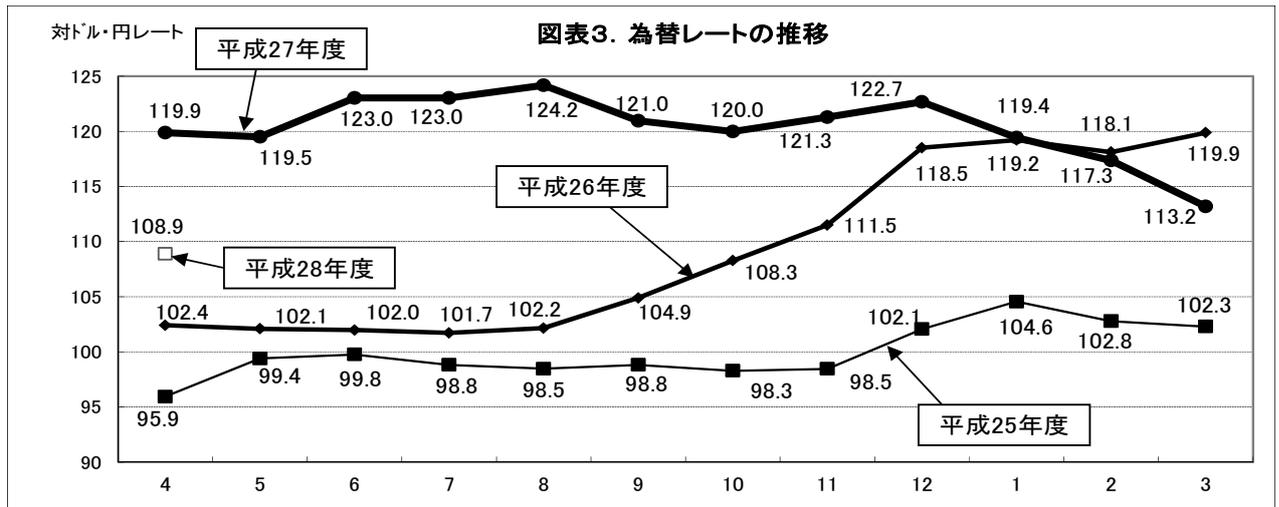


(2) 為替・営業日動向～2月は5.2%の増加要因、3月は約3.3%の減少要因～

1) 2月は1ドル=117.3円となり、前年に比べ0.7%の円高となった。また、対ユーロは129.3円と前年に対して3.9%の円高となり、合わせて約0.6%の為替減少要因となった。営業日は前年より1日多いため、5.8%の増加要因となり、合計で5.2%の増加要因となる。2月の輸出額は2.5%減であったことから、実質的伸び率は7.3減と9ヶ月連続でマイナスとなった(1月10.0%減)。

2) 3月は1ドル=113.2円で前年比5.6%の円高、対ユーロでは125.2円で前年比6.1%の円高となり、合わせて約3.3%の為替減少要因となった。営業日は前年と同じため、合計で約3.3%の減少要因となる。

3) 4月は、対ドルが4月20日17:00時点の108.9円とすれば、前年に比べて9.2%の円高、また、対ユーロは123.7円で4.3%の円高となり、合わせると約5.1%の為替減少要因となる。営業日は前年より1日少ないため、4.8%の減少要因となり、合計で約9.7%の減少要因となる。



(3) 地域別動向～EU、中国、北米、韓国・台湾向けが前年同月比プラス～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の27.3%を占める最大輸出先の北米向けでは、産業機械(3.6%減)がマイナスとなったものの、全体の51%を占める自動車(3.3%増)や建設機械(8.1%増)等が増加して0.5%増となった。②18.2%を占める中国向けでは、電子デバイス(12.6%減)がマイナスとなったものの、全体の22%を占める産業機械(17.0%増)や自動車(22.2%増)がプラスとなって2.3%増となり、③14.9%のASEAN・南アジア向けは、ベトナム(30.9%減)、インドネシア(22.5%減)、タイ(12.6%減)等が大幅に減少し、業種では、全体の27%を占める自動車(3.0%減)をはじめ、21%の産業機械(8.7%減)、電子デバイス(20.2%減)等がマイナスとなって10.6%減となった。④最も伸びた12.7%を占めるEU向けでは、産業機械(5.3%減)がマイナスとなったものの、34%を占める自動車(8.3%増)や理化学用機器等軽機械(4.7%増)等がプラスとなって、6.6%増となり、⑤9.2%を占める韓国・台湾向けは重電気機械(15.0%減)、光学機械(18.5%減)等がマイナスとなったものの、産業機械(9.0%増)、電子デバイス(2.7%増)等がプラスとなってほぼ横這いの0.1%増となった。⑥17.8%のその他地域向けでは、ロシア東欧等(20.3%減)、アフリカ(15.4%減)、中南米(13.8%減)向け等がマイナスとなり、機種では58%を占める自動車(13.7%減)、産業機械(35.4%減)等が大幅にマイナスとなって10.8%減となった。

2) また、リーマンショック前の2008年2月の地域別輸出額と比較するとASEAN・南アジア向けが90%台、中国、北米向けが80%台、韓国・台湾、その他地域向けが70%台、EU向けが50%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2015/12			2016/1			2016/2			対08年 2月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	41,544	▲ 5.6	100.0	34,914	▲ 10.4	100.0	37,325	▲ 2.5	100.0	0.79
北米	11,235	▲ 3.2	27.0	9,451	▲ 4.5	27.1	10,206	0.5	27.3	0.86
中国	8,527	▲ 8.6	20.5	6,321	▲ 20.1	18.1	6,787	2.3	18.2	0.87
ASEAN・南アジア	6,082	▲ 9.4	14.6	4,905	▲ 18.5	14.0	5,551	▲ 10.6	14.9	0.96
EU	5,351	6.8	12.9	4,471	▲ 5.3	12.8	4,735	6.6	12.7	0.58
韓国・台湾	3,859	▲ 6.5	9.3	3,300	▲ 9.0	9.5	3,418	0.1	9.2	0.76
その他	6,491	▲ 10.1	15.6	6,466	▲ 4.5	18.5	6,629	▲ 10.8	17.8	0.72

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

図表5. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位:億円、%)

国名	2015/11		2015/12		2016/1		2016/2	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,668	▲ 18.3	1,902	▲ 10.8	1,535	▲ 21.2	1,791	▲ 3.0
台湾	1,881	11.4	1,956	▲ 1.8	1,765	5.0	1,627	3.7
ASEAN・南アジア								
タイ	1,586	▲ 8.3	1,638	▲ 9.0	1,318	▲ 20.7	1,466	▲ 12.6
シンガポール	818	▲ 14.0	887	▲ 4.7	792	▲ 24.1	900	▲ 6.1
インドネシア	580	▲ 16.3	633	▲ 25.7	498	▲ 23.4	590	▲ 22.5
マレーシア	592	▲ 12.3	684	▲ 8.8	565	▲ 12.2	673	▲ 7.6
フィリピン	635	9.5	596	▲ 6.3	569	▲ 0.0	597	0.9
ベトナム	631	▲ 7.3	704	▲ 11.4	477	▲ 33.7	498	▲ 30.9
インド	412	0.9	509	7.8	374	11.2	429	15.5
パキスタン	133	39.5	160	10.3	88	2.0	119	7.5
その他地域								
中南米	2,144	8.1	1,807	▲ 22.9	2,253	14.0	2,097	▲ 13.8
中近東	2,554	16.8	2,486	1.4	1,791	4.4	1,873	▲ 11.7
大洋州	1,232	8.8	961	▲ 5.8	1,132	▲ 6.0	1,198	2.7
ロシア東欧等	783	▲ 8.6	756	▲ 6.8	729	▲ 25.5	816	▲ 20.3
アフリカ	456	▲ 34.1	453	▲ 33.0	474	▲ 50.1	579	▲ 15.4

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～21業種中プラスは9業種。光学機械等4業種が二桁のマイナス～

- 1)業種別では、全21業種中プラスとなったのは9業種で、前月より4業種増加した。業種では、全体の約36%を占める自動車(1.1%減)をはじめ、17%の産業機械(3.8%減)、7%の電子デバイス(9.7%減)等の主要輸出業種に加え、光学機械(24.0%減)、工作機械(23.9%減)、電子計算機(11.7%減)、ベアリング(10.0%減)が二桁のマイナスとなって、機械全体で2.5%減となった。
- 2)リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、鉄道車両、医療機械、軽機械、ベアリングの5業種で前月と同じであり、他方、電子計算機が30%台、民生用電子機械が40%台の低い水準にある。

図表6 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

業種名	2015/12			2016/1			2016/2			対08/2比		
	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額		伸び率	シェア
自動車	15,805	4.0	38.0	自動車	12,211	▲ 5.4	35.0	自動車	13,490	▲ 1.1	36.1	0.78
産業機械	7,104	▲ 9.3	17.1	産業機械	5,414	▲ 18.7	15.5	産業機械	6,471	▲ 3.8	17.3	0.86
電子デバイス	3,010	▲ 13.8	7.2	電子デバイス	2,809	▲ 11.3	8.0	電子デバイス	2,654	▲ 9.7	7.1	0.72
軽電気機械	2,124	▲ 6.5	5.1	船舶	2,241	4.8	6.4	軽電気機械	1,767	▲ 7.1	4.7	0.72
重電気機械	1,943	▲ 12.9	4.7	軽電気機械	1,717	▲ 11.6	4.9	重電気機械	1,765	▲ 3.7	4.7	0.87
軽機械	1,809	2.5	4.4	重電気機械	1,555	▲ 19.7	4.5	船舶	1,644	27.6	4.4	0.91
民生用電子機械	1,463	▲ 6.9	3.5	軽機械	1,390	▲ 7.1	4.0	軽機械	1,512	4.2	4.0	1.14
光学機械	1,386	▲ 21.2	3.3	民生用電子機械	1,247	▲ 15.5	3.6	民生用電子機械	1,240	▲ 8.9	3.3	0.42
船舶	708	▲ 22.5	1.7	光学機械	1,070	▲ 27.6	3.1	建設機械	1,001	1.1	2.7	0.68
通信機械	612	▲ 11.6	1.5	建設機械	865	▲ 5.7	2.5	光学機械	984	▲ 24.0	2.6	0.83
建設機械	899	▲ 29.5	2.2	航空機部品	725	▲ 1.7	2.1	航空機部品	774	4.2	2.1	2.07
航空機部品	798	4.7	1.9	通信機械	563	8.3	1.6	工作機械	661	▲ 23.9	1.8	0.78
工作機械	713	▲ 27.5	1.7	工作機械	520	▲ 40.2	1.5	通信機械	531	4.6	1.4	0.64
電子計算機	515	▲ 11.3	1.2	電子計算機	420	▲ 7.0	1.2	医療機械	454	3.3	1.2	1.16
医療機械	547	2.8	1.3	医療機械	406	▲ 2.1	1.2	電子計算機	420	▲ 11.7	1.1	0.39
ベアリング	406	▲ 12.8	1.0	ベアリング	324	▲ 20.1	0.9	ベアリング	362	▲ 10.0	1.0	1.02
陸用内燃機関	362	▲ 14.6	0.9	陸用内燃機関	296	▲ 12.9	0.8	陸用内燃機関	356	▲ 0.0	1.0	0.84
農業機械	204	▲ 5.0	0.5	鉄道車両	202	180.9	0.6	繊維機械	213	19.3	0.6	0.70
繊維機械	218	32.2	0.5	農業機械	185	11.5	0.5	農業機械	213	20.1	0.6	0.85
産業車両	130	1.2	0.3	繊維機械	142	3.8	0.4	鉄道車両	129	273.4	0.3	1.72
鉄道車両	138	38.4	0.3	産業車両	99	▲ 7.9	0.3	産業車両	115	▲ 3.2	0.3	0.50
21業種合計	40,755		98.1	21業種合計	34,402		98.5	21業種合計	36,757		98.5	0.79

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン
 ・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器
 ・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品
 ・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信

- (5)機種別動向～鉄道車両、船舶、農業機械等が大幅増、その他の光学機器、工作機械等が大幅減～
- 1)10%以上の伸び率を示した機種は7機種(前月の4機種から3機種増)で、①EU向け**鉄道車両**(3.7倍)、②その他地域、ASEAN・南アジア、EU向け**船舶**(27.6%増)、③北米向け**農業機械**(20.1%増)、④ASEAN・南アジア、中国向け**繊維機械**(19.3%増)、⑤中国、北米、EU向け**産業用ロボット**(14.9%増)⑥中国向け**受信変換・その他送受信**(13.8%増)、⑦EU、北米向け**理化学用機器**(12.2%増)であった。
- 2)一方、その他の光学機器(28.4%減)、工作機械(23.9%減)、金属加工機械(22.5%)、電池(21.5%)の4機種が20%以上の大幅な減少であった。

図表7. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2015/12			2016/1			2016/2		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
鉄道車両	138	38.4	鉄道車両	202	180.9	鉄道車両	129	273.4
繊維機械	218	32.2	通信機械部分品	285	16.4	船舶	1,644	27.6
乗用車	9,785	12.1	農業機械	185	11.5	農業機械	213	20.1
機種合計	10,141	* 24.4%	産業用ロボット	130	10.9	繊維機械	213	19.3
			機種合計	802	* 2.3%	産業用ロボット	137	14.9
						受信変換その他送受信機器	149	13.8
						理化学用機器	443	12.2
						機種合計	2,928	* 7.8%

は、2ヶ月連続で上位機種 * 機種合計の%は輸出額に占める割合
 通信機械部分品:ゲートウェイ、リピーター等 受信変換・その他送受信:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器
 理化学用機器:物理・化学分析用機器の部品、電気式分析機器等 電動機:業務用モーター
 その他の光学機器:レーザー、半導体検査装置等 その他の重電機機器・部分品:重電機器部分品、交通管制用機器

図表8. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2015/12			2016/1			2016/2		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
建設機械	899	▲ 29.5	工作機械	520	▲ 40.2	その他の光学機器	791	▲ 28.4
発電機	72	▲ 28.4	印刷・製本機械	692	▲ 31.2	工作機械	661	▲ 23.9
工作機械	713	▲ 27.5	デジカメ・ビデオ	275	▲ 28.7	金属加工機械	235	▲ 22.5
電池	205	▲ 24.1	その他の光学機器	917	▲ 28.6	電池	166	▲ 21.5
船舶	708	▲ 22.5	その他の重電機機器・部分品	365	▲ 25.8	電気・電子計測器	332	▲ 19.5
その他の光学機器	1,188	▲ 22.0	電動機	112	▲ 25.2	デジカメ・ビデオ	285	▲ 17.2
デジカメ・ビデオ	303	▲ 21.9	原動力機械	319	▲ 24.1	原動力機械	414	▲ 13.2
写真機の部分品・附属品	122	▲ 20.0	写真機の部分品・附属品	100	▲ 24.0	電子計算機	420	▲ 11.7
原動力機械	460	▲ 18.9	電池	178	▲ 23.3	その他の配電制御装置	721	▲ 11.2
その他の配電制御装置	800	▲ 16.5	その他の配電制御装置	660	▲ 20.3	ベアリング	362	▲ 10.0
機種合計	5,470	* 13.2%	機種合計	4,138	* 11.9%	機種合計	4,387	* 11.8%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6)機械輸入動向～電子デバイス、電子計算機、自動車部品等が大幅減～

- 1)2月の機械輸入伸び率は7.3%減と4ヶ月連続のマイナスとなった。航空機・部品等(34.5%増)が大幅に増加したものの、電子デバイス(16.8%減)、電子計算機(9.3%減)、自動車部品(7.6%減)等の主要輸入機種が減少したことにより、マイナスとなった。
- 2)なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は電子計算機、航空機・部品等、携帯電話、医療機械、白物家電、受信変換・その他送受信、配電機器、時計、通信機械部分品、TVとなっている。
- 3)地域別機械輸入額は、全体の37%を占める中国(19.7%減)、北米(20.8%増)、ASEAN・南アジア(0.9%減)、EU(1.2%減)、韓国・台湾(11.8%減)、その他地域(12.0%増)の順であった。

図表9. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2015/12				2016/1				2016/2			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,380	▲ 2.8	12.4	電子デバイス	2,368	▲ 9.8	11.6	電子デバイス	2,009	▲ 16.8	11.3
電子計算機	1,967	▲ 8.4	10.3	携帯電話	2,105	59.2	10.3	電子計算機	1,744	▲ 9.3	9.8
自動車部品	1,118	4.6	5.8	電子計算機	1,931	▲ 8.3	9.5	自動車部品	1,055	▲ 7.6	5.9
携帯電話	1,013	▲ 40.3	5.3	自動車部品	1,209	▲ 0.7	5.9	航空機・部品等	966	34.5	5.4
乗用車	949	▲ 14.3	5.0	航空機・部品等	1,100	▲ 7.6	5.4	携帯電話	852	▲ 27.7	4.8
航空機・部品等	810	▲ 34.9	4.2	乗用車	1,011	6.9	5.0	乗用車	716	4.6	4.0
白物家電	723	4.1	3.8	白物家電	688	▲ 6.7	3.4	医療機械	707	1.6	4.0
医療機械	719	9.2	3.8	医療機械	628	▲ 0.1	3.1	白物家電	581	▲ 15.5	3.3
配電機器	550	▲ 5.3	2.9	配電機器	575	▲ 5.5	2.8	受信変換その他送受信	541	▲ 3.3	3.0
受信変換その他送受信	540	▲ 7.0	2.8	受信変換その他送受信	543	▲ 9.0	2.7	配電機器	507	▲ 6.7	2.8
その他の配電制御装置	379	▲ 7.2	2.0	その他の配電制御装置	386	▲ 13.2	1.9	その他の配電制御装置	339	▲ 9.7	1.9
コンデンサー等部分品	364	▲ 10.7	1.9	コンデンサー等部分品	373	▲ 5.4	1.8	風水力機械	323	▲ 4.3	1.8
12機種合計	11,512		60.1	12機種合計	12,917		63.3	12機種合計	10,340		58.1

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電:民生用電気機械
 ・受信変換その他送受信:ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置:スイッチ、配電盤、制御盤等